

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル:

A randomized crossover trial of topical lidocaine-prilocaine cream versus lidocaine cream for analgesia during venipuncture

和文タイトル:

静脈穿刺時の鎮痛薬としてリドカイン-プリロカインクリームとリドカインクリームの局所塗布とを比較したランダム化クロスオーバー試験

ユニットセンター(UC)等名: メディカルサポートセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Annals of Clinical Epidemiology

年: 2019 月: 10 巻: 1

頁:

筆頭著者名: 道端 伸明

所属UC名: メディカルサポートセンター

目的:

静脈穿刺の鎮痛効果において2.5%リドカイン-2.5%プリロカイン(EMLA)と5%リドカイン(LMX5)のクリーム状局所麻酔薬の直接比較研究はない。視覚アナログスケール(VAS)を用い健康成人におけるこれら二つのクリームの鎮痛効果を評価するために、二重盲検ランダム化クロスオーバー試験を行った。

方法:

24名の健康成人が参加した。参加者は局所麻酔薬と左右の腕の組み合わせにより4群にランダム割り付けされた。主要アウトカムは採血時のVASスコア(範囲0から100)とした。二次アウトカムは採血部位、採血量、採血回数、副作用発現とした。参加者の背景特性を調整したVASスコアに対する多変量回帰分析を実施した。また一般化推定方程式を用いて個人内の腕治療プロトコルのクラスタリングも調整した。

結果:

年齢と性別を含む参加者の背景特性で調整後、EMLAとLMX5クリームの間にはVASスコアの有意差はなかった(差:2.83;95%信頼区間:-11.25~16.92;P値:0.693)。また、EMLAクリームとLMX5クリームの二次アウトカムにも統計多額的に有意な差は認められなかった。いずれのクリームにおいても臨床的に問題となる副作用は認められなかった。

考察:(研究の限界を含める)

本研究は両クリームの効果の同等性を評価しなかったが、結果は両クリームが粘膜鎮痛だけでなく経皮静脈穿刺においても同様の鎮痛効果を有することを示す可能性があると考えられた。

結論:

このランダム化クロスオーバー試験では、EMLAクリームとLMX5クリームとの間に鎮痛作用の有意差は認められなかった。両クリームは臨床的に重篤な副作用なく有効であった。